

30日 金曜

テサロニケⅡ



2:13 しかし、主に愛されている兄弟たち。私たちはあなたがたのことについて、いつも神に感謝しなければなりません。神が、御霊による聖別と、真理に対する信仰によって、あなたがたを初穂として救いに選ばれたからです。

2:14 そのために神は、私たちの福音によってあなたがたを召し、私たちの主イエス・キリストの栄光にあずからせてくださいました。

2:15 ですから兄弟たち。堅く立って、語ったことばであれ手紙であれ、私たちから学んだ教えをしっかりと守りなさい。

2:16 どうか、私たちの主イエス・キリストと、私たちの父なる神、すなわち、私たちを愛し、永遠の慰めとすばらしい望みを恵みによって与えてくださった方ご自身が、

2:17 あなたがたの心を慰め、強めて、あらゆる良いわざとことばに進ませてくださいますように。

3:1 最後に兄弟たち、私たちのために祈ってください。主のことばが、あなたがたのところと同じように速やかに広まり、尊ばれるように。

3:2 また、私たちが、ひねくれた悪人どもから救い出されるように祈ってください。すべての人に信仰があるわけではないからです。

3:3 しかし、主は真実な方です。あなたがたを強くし、悪い者から守ってくださいます。

3:4 私たちが命じることを、あなたがたは実行していますし、これからも実行してくれると、私たちは主にあって確信しています。

3:5 主があなたがたの心を導いて、神の愛と

キリストの忍耐に向けさせていただきますように。

間違った教えに惑わされないためには「御霊による聖別と、真理に対する信仰」が重要です。世にあるものを何でも受け入れるのではなく、主のみこころによって見分けるようにしましょう。そのようにして、この終りの時に惑わされないようにしましょう。

世界史を福音によって変えたパウロであっても、その伝道は簡単でなく、困難を極めました。「ひねくれた悪人」がいたからです。自分と同じように困難にあるテサロニケの信徒たちをパウロは心配しますが、「主は…強くし…守って」くれると確信し、彼らを励ましています。

人を育てるときには、その人のために祈り、主からの確信をいただいて励ますことも、重要な働きです。その際に必要なのは「キリストの忍耐」です。それはあの十字架に至るイエス様の忍耐であって、私たちは十字架を思うときに、強い忍耐が心から湧いてくるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

